



# 発刊によせて

熊野町は、江戸時代から伝わる筆の製造を産業の中心として「筆の都」として栄えてきたまちです。大正7年に町制を施行し、平成10年には町制施行80周年を迎えました。

この間、昭和42年の県営熊野団地の造成を契機に人口が増加し、急速に都市化が進展してきました。こうした中、平成2年に広島熊野道路の開通、平成5年に公共下水道の一部供用開始、平成6年に筆の里工房オープンなど町民及び関係機関の深い理解と積極的な協力により、住民福祉をはじめ生活環境・交通基盤の整備や産業の振興等において一定の向上を図ることができました。しかしながら、時代は今、少子化に伴う人口減少や高齢化の進行、高度情報化社会の到来、経済の国際化、地方分権の進展等といった諸情勢の変化により、大きな変革期を迎えています。

このたび2000年という節目の年、「三世代が住みよい 緑の生活創造都市・熊野町」を基本理念として、第4次熊野町総合基本計画を策定しました。「熊野らしさ」「熊野の独自性」を追求しながら、便利で快適な都市基盤の整備、環境と調和した安心できる地域社会の構築、心豊かな人づくりと個性ある文化の継承、熊野筆の需要創造と交流産業の開発という4つの視点から、生活利便性が高く、住民誰もが安心して快適な暮らしを営むことができる豊かな社会の実現をめざしていきます。職員の意識の向上はもとより、住民の皆様と力を合わせて生き生きとした熊野町をつくって行きたいと考えています。

終わりに、この計画の策定にあたりまして、熱心にご審議、ご検討いただきました、町議会議員、総合基本計画審議会委員の皆様をはじめ、意見提案、アンケートなどにより貴重なご意見をいただきました住民の皆様に心から感謝申し上げます。



熊野町長

平本 芳之